

いじめ早期発見のためのチェックリスト

いじめが起こりやすい・起こっているかもしれない状況

- 朝いつも誰か(特定)の机が曲がっている
- 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- 特定の子どもの気を遣っている雰囲気がある
- 些細なことで冷やかしたりするグループがある
- 学級やグループの中で絶えず周りの顔をうかがう子どもがいる
- 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せ付けない雰囲気がある
- 授業中、教職員にわからないように特定の生徒にいたずら(消しゴムを投げたり等)する
- 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- グループ分けをすると特定の子どもが残る

いじめられている子

※ 日常の行動・表情

- わざとらしくはしゃいでいる
- 顔色が悪く、元気がない
- おどおど、にやにや、にたにたする場面が多い
- ときどき涙ぐんでいる
- いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- 他の生徒からの悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする
- 下を向いて視線を合わそうとしない
- 遅刻・欠席が多くなる
- 早退や一人で下校することが増える
- 腹痛など体調不良で保健室へ行きたがる

※ 授業中・休み時間

- 発言すると友だちから冷やかされる
- 班編制の時に孤立しがちである
- 教職員の近くにいたがる
- 教職員がほめると冷やかされたり、陰口を言われたりする
- 本意でない係や委員に無理やり選出される
- 一人でいることが多い
- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- 教室へいつも遅れて入ってくる

※ 昼食時

- 好きなものを他の子どもにあげる
- 食事の量が減ったり、食べなかったりする
- 他の子どもの机から机を少し離している
- 食べ物にいたずらされる

※ 清掃時

- いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている
- 一人で離れて掃除している

※ その他

- トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる
- 持ち物が壊されたり、隠されたりする
- 服に靴の跡がついている
- けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどをする
- 持ち物や机、ロッカーに落書きされる
- 理由もなく成績が突然下がる
- 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す
- 手や足にすり傷やあざがある

いじめている子

- 多くのストレスを抱えている
- あからさまに、教職員の機嫌をとる
- 教職員によって態度を変える
- グループで行動し、他の子どもに指示を出す
- 活発に活動するが他の子どもにきつい言葉をつかう
- 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- 特定の子どものみ強い仲間意識をもつ
- 教職員の指導を素直に受け取れない
- 他の子どもに対して威嚇する表情をする